

※一部非公開

平成31年度  
沖縄県立看護大学  
特別選抜試験問題

出題の意図

本題材は「共感力」を中心テーマとしている。「共感力」は、アドミッションポリシーの人の生命と健康に関心を持ち、看護職者として社会に貢献したいという意欲をもつ力のひとつと捉えられる。したがって、「共感力」をキーワードとして、問題Ⅰでは、文章読解力と、本文を前提とした受験者の体験から共感力の有無を問う。問題Ⅱでは数学の基礎知識を踏まえた言語的コミュニケーション（ただし一方）能力を問う、問題Ⅲでは題材から「共感力」の特性を理解し、主体的に学び、能力を発展させる姿勢を問う。

【問題Ⅰ】 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

※非公開

(有田秀穂著、『共感する脳 他人の気持ちが読めなくなった現代人』、PHP 研究所、2009年、より改編)

《設問1》非言語コミュニケーションの特徴は何か。言語コミュニケーションと比較し、100字程度で説明しなさい。

《設問2》あなたが過去3年間に沖縄の歴史や文化に触れ（学習体験を含む）、「共感力」を発揮した経験を400字程度で記述しなさい。  
ただし「共感力」とは、文中で著者が示す内容とする。

【問題II】次の文章を読み、作図をしなさい。作図は手書きでよい。

一辺が6cmの正方形を描く。その正方形と底辺を共有し、頂点が正方形の上辺を二分する三角形を描く。正方形のすべての対角線を描く。対角線の交点を中心とした半径3cmの円を描く。三角形と対角線で作られた四角を塗りつぶす。

【問題III】問題I、問題IIをふまえ、コミュニケーションに必要な「共感力」を高めるためにあなたが取り組めることを一つ選び、400字程度で提案しなさい。  
ただし「共感力」とは、問題Iの文中で著者が示す内容とする。